

単元名 表現運動(リズムダンス)

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) リズムダンスでは、その行い方を知るとともに、軽快なロックやサンバなどのリズムの特徴を捉え、リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わりあったりして即興的に踊ることができる。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。
- (3) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりしようとする。

標準的な展開例

04100103_001

【準備等】 軽快な曲：アニメの曲やヒット曲の中から児童の好む踊りやすい曲を選ぶ、CDプレーヤー、感想カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 リズムダンスの学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 ★いろいろなリズムの音楽に合わせて思いっきり踊ろう。 ○リズムに乗って踊って楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで車座になって、教師のまねをしてリズムに乗る。(手拍子→隣の友達の手や膝などにタッチ) ・スキップや駆け足などで移動しながら、8拍目にタイミングを合わせて近くの人とタッチをする。(両手ハイタッチ→肩→肩→お尻とお尻) ・教師の動きをまねて踊る。 ・リーダーの動きをまねて踊る。 ・2人組やグループになってリーダーを交代して踊る。 <p>2～4 リズムダンスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2人1組で体ほぐしの運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・背中全体をパタパタたたいたり、指で押ししたりする。 ・寝ている状態で両足(両手)をゆっくり引っ張る。 ・肩関節や股関節をゆっくり伸ばす。 ○いろいろな曲のリズムに乗って、踊って楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・手拍子や足拍子を打つ。 ・後打ちのアクセントをとる。(1を聞いて2で手拍子やひざ曲げ) ・1人で踊る。 ・そばにいる友達と2人組を作って踊る。 ・一緒に踊ったことのない友達と踊る。 ○1つの曲を繰り返しながら「のり」を楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲の雰囲気に入り、自分なりの動きで踊る。 ・友達と踊りを工夫しながら踊る。 ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・感想カードに感想を書く。 ・よい動きをしていた友達を発表する。 ○第4時は単元のまとめもする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り付けを決めずに自由に踊ることを知らせる。 ・児童にとって親しみのあるアニメの主題歌やヒット中の歌などから軽快でのりのよい曲を選ぶ。(キャラクターや歌詞のイメージが強すぎると動きが固定されるので、選曲に注意する) ・友達同士体を触れ合わせ、心と体をほぐす。 ・癒し系のゆったりした曲をBGMにするとよい。 ・「強かったら言ってね」「できるだけ力を抜いてね」などの言葉掛けをさせながら、互いの体の状態に気付き合うように、行わせる。 ・ロック、サンバ、ヒップホップ、沖縄風のリズムなど曲調の違う曲を3～4曲メドレーで流し、それぞれのリズムの特徴をつかんで自由に踊らせる。 ・どうやって音楽にのったらよいかわからない児童へは、教師や友達のまねをして動くよう助言する。 【評】 いろいろな曲のリズムに乗って踊る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する ・踊った曲の中からみんなで1曲選び、のりを楽しむようにする。 ・毎時間、曲調の違う曲を1曲選んで行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲のリズムを感じて踊れるよう同じ曲を何度も繰り返す。 ・空間を思い切りかき回す感じで動かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・おへそを中心に動かすようにさせると弾むような感じが出る。 ・近くの友達と手をつないで回転したり、お尻をぶついたりするなど、お互いの関わり合いを工夫するよう助言する。 【評】 1つの曲を繰り返しながら踊る活動を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】 誰とでも仲よく踊る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・感想の発表や、自己評価などをさせる。

【 備 考 】

リズムダンスは、軽快なロックやサンバなどのリズムに乗って仲間とかかわって踊るのが楽しい運動である。自由に動きを工夫して全身でリズムに乗って踊る体験を大切に行う。本単元では曲に踊りを振り付けるといふ発展までは考えず、曲のリズムにのって感じたまま即興で踊るといふ児童自身の動きや思いを大切にしている。

【運動が苦手な児童への配慮の例】

- ・題材の特徴を捉えることが苦手な児童には、題材の多様な場面を絵や文字で描いたカードをめくりながら動くなどの配慮をする。
- ・動きの誇張や変化の付け方が苦手な児童には、動きに差を付けて誇張したり、急変する動きで変化を付けたりして踊っている友達の動きを見合い、真似をするようにするなどの配慮をする。
- ・ひと流れの動きにすることが苦手な児童には、気に入った様子を中心に、動きが急変する場面の例を複数挙

げて動いてみるなどの配慮をする。